

	学習指導要領	大森高校 学カスタンダード
A 話 す こ と ・ 聞 く こ と	ア 話題について様々な角度から検討して自分の考えをもち、根拠を明確にするなど論理の構成や展開を工夫して意見を述べること。	学習した内容を参考にし、自分の考えをもち、根拠に基づいて話すことができる。 《具体的な設定例》 ・ 社会問題、学習課題に対して自分の考えを持つことができる。 ・ 根拠に基づいて自分の考えを話すことができる。
	イ 目的や場に応じて、効果的に話したり的確に聞き取ったりすること。	目的や場に応じて、分かりやすく適切な言葉で話すことができる。 《具体的な設定例》 ・ 自己紹介のスピーチなどで、場に応じた言葉で話すことができる。また、相手の話をメモをとりながら聞くことができる。
	ウ 課題を解決したり考えを深めたりするために、相手の立場や考えを尊重し、表現の仕方や進行の仕方などを工夫して話し合うこと。	相手の考えを聞き、自分の考えを説明し、円滑に話し合うことができる。 《具体的な設定例》 ・ グループの話し合いなどから自らの考えに生かすことができる。 ・ 役割分担をし、言葉遣いを考えて話し合うことができる。
	エ 話したり聞いたり話し合ったりしたことの内容や表現の仕方について自己評価や相互評価を行い、自分の話し方や言葉遣いに役立てるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにすること。	自己評価や相互評価を通して、自らの言葉遣いを見直し、視点を変えたものの見方、感じ方、考え方に気づくことができる 《具体的な設定例》 ・ 相手や場に応じた語句の用い方、態度、論の構成など使い分けることができる。

学習指導要領	大森高校 学カスタンダード
B 書くこと ア 相手や目的に応じて題材を選び、文章の形態や文体、語句などを工夫して書くこと。 イ 論理の構成や展開を工夫し、論拠に基づいて自分の考えを文章にまとめること。 ウ 対象を的確に説明したり描写したりするなど、適切な表現の仕方を考えて書くこと。 エ 優れた表現に接してその条件を考えたり、書いた文章について自己評価や相互評価を行ったりして、自分の表現に役立てるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにすること。	誰に向かって書くのかを考え、題材や文章の形態にふさわしい文体や語句を用いて書くことができる。 《具体的な設定例》 - 与えられた題材に即して相手や目的に応じた材料を収集することができる。 - 常態・敬体を使い分けることができる。 論理の構成や展開の仕方について知り、自分の考えを、その根拠と結びつけて文章にすることができる。 《具体的な設定例》 - 段落を意識して文章を書くことができる。 - 自分の意見を明確にできる。 相手や目的を意識した表現の仕方を書くことができる。 《具体的な設定例》 - 事実や事柄などを具体的に順序立てて説明することができる。 - 情景や人物、心情などを、読み手が想像しやすいように描写することができる。 文章への評価を通して、自分の表現を見直し、自分とは異なるものの見方、感じ方、考え方に気づくことができる。 《具体的な設定例》 - 構成の仕方や語句の使い方などの良い点、直すべき点をそれぞれ指摘することができる。

学習指導要領	大森高校 学カスタンダード
C 読むこと ア 文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読むこと。 イ 文章の内容を叙述に即して的確に読み取ったり、必要に応じて要約や詳述をしたりすること。	【現代文】 文章の形態における表現の特色を意識しながら読むことができる。 《具体的な設定例》 ・ 比喩法を知り、文章中から探することができる。 ・ 韻文のリズムを音読を通して味わうことができる。 【古典】 比較的短く平易な文章について、文章の形態の違いを知り、表現技法や語句の使い方に注意して読むことができる。 《具体的な設定例》 古文 ・ 歴史的仮名遣いに注意して音読できる。 ・ ジャンルの違いを意識して読むことができる。 漢文 ・ 基本的なきまりに従って音読することができる。 ・ 詩の形態や技法を指摘することができる。 【現代文】 文脈をとらえ、筆者の考えなどを読み取ったり要約したりすることができる。 《具体的な設定例》 ・ 文章中のキーワードを指摘することができる。 ・ 筆者の主張と具体例とを区別し、主張を中心に要約することができる。 【古典】 基本的な文語のきまりや訓読のきまりに注意して読み取ることができる。 《具体的な設定例》 古文 ・ 用言・助動詞・敬語、係り結びなどを理解して、文章を読み取ることができる。 漢文 ・ 基本的な句法について理解して文章を読み取ることができる。

学習指導要領	大森高校 学カスタンダード
ウ 文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わうこと。 エ 文章の構成や展開を確かめ、内容や表現の仕方について評価したり、書き手の意図をとらえたりすること。 オ 幅広く本や文章を読み、情報を得て用いたり、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにしたりすること。	【現代文】 登場人物を押さえ、行動や性格、心情の変化をとらえることができる。また、登場人物の心情が情景描写にしばしば反映・象徴されることを理解する。 《具体的な設定例》 ・小説で各局面での登場人物の言動や心情を読み取ることができる。 【古典】 比較的短く平易な文章の場面や人物を押さえ、誰がどうしたという流れを読み取ることができる。 《具体的な設定例》 古文 主人公、場面、出来事を読み取ることができる。 漢文 文章中における人物、作者の心情を理解する。 様々な文章の構成や展開を確かめ、内容や表現の仕方について考えたり、書き手の主張をとらえたりすることができる。また、時代設定をおさえることで、その作品の書かれた背景にも目を向けた立体的な読みができる。 《具体的な設定例》 ・各段落の働きを理解し、段落相互の関係を読みとることができる。 ・情景や心情の変化、時代背景に注意して、作品全体の筋をとらえることができる。 ・文章中に用いられている文体の効果や、語句の工夫、対比、比喩などの表現技法を指摘することができる。 ・作者の描くテーマや、筆者の文章中での主張について、その考え方をとらえることができる。 様々な分野の文章を読み、自分の考えを持つことができる。 《具体的な設定例》 ・様々な形態・分野の本や文章を読むことができる。 ・読んだ文章を評価することを通して、自分とは異なるものの見方、感じ方、考え方に気づくことができる。

	学習指導要領	大森高校 学カスタンダード
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	ア 伝統的な言語文化に関する事項 (ア) 言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について気付き、伝統的な言語文化への興味・関心を広げること。 (イ) 文語のきまり、訓読のきまりなどを理解すること。 イ 言葉の特徴や決まりに関する事項 (ア) 国語における言葉の成り立ち、表現の特色及び言語の役割などを理解すること。 (イ) 文や文章の組立て、語句の意味、用法及び表記の仕方などを理解し、語彙を豊かにすること。	日本の伝統的な言語文化について基本的な事柄を知り、また外国の文化の影響に気づくことができる。 《具体的な設定例》 ・基本的な古典知識（月の異名、十二支等）を知る。 ・中国の文字や書物の影響のうち基本的なもの（故事成語）を知る。 基本的な文語のきまりを理解し、文章の音読や読解を行うことができる。 《具体的な設定例》 ・歴史的仮名遣い、文法の活用などを理解する。 ・基本的な句法について理解し、訓読、書き下しをすることができる。 【現代文】 語句、語彙の基本的な事柄を知り、また、表現の特色や言語の役割について活用することができる。 《具体的な設定例》 ・熟語の構成における主述関係や修飾、被修飾の関係などを理解する。 ・言語の主要な機能を理解する。 【古典】 言葉の成り立ちについて基本的な事柄を知る。 《具体的な設定例》 ・歴史的仮名遣いを正しく読むことができる。 【現代文】 文の成分や文章の構成、語句の意味、用法及び表記の仕方などについて基本的な事柄を知り、活用することができる。 《具体的な設定例》 ・基本的な文について、文の成分を指摘することができる。 ・語句の意味・用法を理解する。

学習指導要領		大森高校 学カスタンダード
	ウ 漢字に関する事項 (ア) 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字が書けるようになること。	・段落構成を理解する。 ・基本的な用語について理解する。 【古典】 古語辞典や漢和辞典を引くことができ、基本的な古語や漢語の意味を知る。 《具体的な設定例》 ・基本的な古語 40 語程度の意味を知る。 ・基本的な漢語 20 語程度の意味を知る。 基本的な常用漢字を読み、文や文章の中で使うことができる

学習指導要領		大森高校 学カスタンダード

